

佐倉フィルハーモニー管弦楽団 第36回 定期演奏会



■ 指揮：村上満志

■ チェロ独奏：川上徹 (新日本フィルハーモニー交響楽団首席チェロ奏者)

ドヴォルザーク チェロ協奏曲短調

チャイコフスキー 交響曲第五番ホ短調

2002年6月23日(日) 14:00 開演

佐倉市民音楽ホール〈京成臼井駅南口徒歩4分〉

入場料 700 円 (全席自由)

- 主催：佐倉市民音楽ホール・佐倉フィルハーモニー管弦楽団
- 協賛：千葉県トヨタ販売会社グループ・トヨタ自動車株式会社
- 協力：(社)日本アマチュアオーケストラ連盟

指揮

CONDUCTOR



村上 満志 MITSUSHI MURAKAMI

島根大学教育学部を卒業後、1971年東京芸術大学器楽科入学。同学4年在学中に東京都交響楽団に入団。卒業後は、ドイツ政府給費留学生として渡独。元ベルリンフィル首席コントラバス奏者のライナー・ツェパリッツ教授の下で研鑽を積む。

帰国後は、東京都交響楽団首席コントラバス奏者としてのオーケストラ活動の他にソロ・リサイタルや室内楽、またオーケストラのソリストとして活躍。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団首席コントラバス奏者、昭和音楽大学、名古屋音楽大学各講師。コントラバスの演奏活動の他に、立教大学管弦楽団、長岡室内合奏団等アマチュア演奏団体の指導にあたり、特に長岡室内合奏団においては16年間にわたり年1回の定期公演を演奏・指揮をし、同団の演奏水準の向上に寄与した。佐倉市在住。

チェロ独奏

CELLO



川上 徹 TŌRU KAWAKAMI

東京生まれ。桐朋学園を経てジュリアード音楽院・リスト音楽院にて学ぶ。故井上頼豊・ザラネルソヴァ各氏の薫陶を受ける。

帰国後、仙台フィルハーモニー管弦楽団の首席チェロ奏者に就任、その後神戸市室内合奏団の第一首席チェロ奏者を経て、小沢征爾氏に認められ新日本フィルハーモニー交響楽団に首席チェロ奏者として入団。

ソリスト・室内楽に幅広く活躍する傍ら、九州交響楽団客演首席チェロ奏者・サイトウキネンオーケストラ首席奏者・オールジャパンオーケストラ首席奏者等を務めている。

2001年10月に世界的なテノール歌手ホセ・カレーラスと共演し日本ツアーを行う。

日本室内楽コンクール第2位、ロンドン国際弦楽四重奏コンクール特別賞、宮城県芸術選奨新人賞を受賞した。